

令和7年度 食肉・食鳥肉衛生研究発表会において 全国食肉衛生検査所協議会長賞を受賞

厚生労働省主催の「令和6年度食肉及び食鳥肉衛生技術研修会並びに研究発表会」が、令和7年1月下旬に東京都で開催され、当所職員の平野かおり主幹獣医師が発表した「管内と畜場におけるリステリア属菌の汚染実態調査」が、全国食肉衛生検査所協議会長賞を受賞しました。

食肉衛生検査所では、と畜場に搬入される家畜(牛や豚等)について、疾病を排除するためにと畜検査員が全頭検査を行い、またと畜場の衛生管理指導も行うことで、安全な食肉の流通を確保しています。

さらに、食肉の安全及び検査技術向上のため調査研究も行っており、本件は、その一環として取り組んできたものになります。今回の研究内容は、と畜場に搬入される牛における人獣共通感染症の原因菌でもあるリステリア属菌の保有状況や、と畜場の施設における汚染状況等を調査したものです。今後は、この研究成果をもとに、と畜場の衛生管理指導を強化し、更なる安全な食肉の流通確保に努めて参ります。

発表会場 「東京証券会館ホール」



プレゼンター：全国食肉衛生検査所協議会長



受賞者：山形市食肉衛生検査所

主幹獣医師 平野かおり